

項目別の自己評価表(専門学校)

1. 学校の教育目標

服装に関する知識と技術を修得して、実社会に役立つ人間を育成すること。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

目標：高等課程の生徒、専門課程の学生の増加。

計画：ホームページの刷新、進学サイト等を利用したWEB上での学校案内の開始、学校訪問の強化、パンフレットの改訂による授業内容・就職状況等の周知。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 2 1

①課題

1 学科しかないため、社会や企業ニーズへの対応は限定的なものとなる。

②今後の改善方策

企業への間口を広げていくとともに、既存の連携企業との信頼関係をより強化していきたい。

③特記事項

(2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 3 2 1

・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

①課題

意思決定過程の重複、情報システム導入の遅れにより、現状では情報公開等が万全ではない。

②今後の改善方策

組織内での情報共有と職員間の連携の見直し、事務所内の情報システムの見直し、HP改訂による情報公開の徹底

③特記事項

昨年度の学校評価でも同様の課題があったことから、対応に努め、漸進的に改善している。

(3)教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1

・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

①課題

関連分野の企業・施設との連携

②今後の改善方策

教育課程を検討する委員会を設置し、カリキュラムの中に企業との実践教育活動の場を確立し、授業として展開していく。

③特記事項

地元企業を中心に、実習授業や教員研修における連携を具体的に模索しはじめている。

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・ 退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

①課題

卒業生の活躍状況はほぼ把握できているが、学校の教育活動の改善にあまり活かしきれていない。

②今後の改善方策

体系的に卒業生の職業内容と学科との関連性を把握し、カリキュラム等に反映したい。

③特記事項

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1

・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

少人数制の特徴を活かし、支援体制の充実もさることながら、教職員が個別的に学生の現状を把握し相談を受けやすい状況にある。また、社会人のニーズに対応した服装専科(社会人コース)も好評である。

(6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

①課題

学内外の実習施設、インターンシップ等についての教育体制の整備

②今後の改善方策

外部企業の実施するインターン紹介サービスなどを利用する。

③特記事項

(7). 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4 3 2 1
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 2 1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	4 3 2 1

①課題

学生が減少していく中で、教育成果をあげる組織づくりと学納金とのバランスをどうとるべきか

②今後の改善方策

教育成果のアピール方法を見直し、学生募集に活かす。

③特記事項

学納金の設定は、多様な学生を受け入れられる良心的なものとなっている。

(8). 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

①課題

学生数の減少が財政基盤を難しくしている面はある。

②今後の改善方策

③特記事項

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 2 1
・ 自己評価結果を公開しているか	4 3 2 1

①課題

設立時からの社会状況の変化により、専修学校設置基準や学則等の遵守が難しくなっている点もある。

②今後の改善方策

学校の入学定員数を現実に沿ったものに変更することを検討する。

③特記事項

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 1
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 1
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 1

①課題

経済的に必ずしも恵まれているとは限らず、自分自身の生活に手一杯の学生も多い。

②今後の改善方策

学生に無理な負担のかからない範囲で、ボランティア情報などの紹介を充実させるべく努める。

③特記事項

(11). 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
------	---------------------------

・ 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2	1
・ 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
・ 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1
・ 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1

①課題

留学生の受け入れにつき、より戦略的に行う必要がある。

②今後の改善方策

日本語学校との連携や新規の国からの受け入れ体制の整備など。

③特記事項

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校訪問の強化と進学情報サイトの利用に関しては、少しずつ反響も出始めていることから次年度以降も継続して行う方針である。HPについては外的要因により十分な告知機能を果たせていない現状があるため、内容の全面的な見直しを図る予定である。

学校評価の結果としては、細やかな学生支援およびファッションにとどまらない総合人格教育については、各方面から一定の評価を得ていると自負している。一方で、情報技術の導入と、体系的・実践的なキャリア教育については、可能なところから随時プランをたて実行に移しているが、今後さらなる改善の余地がある。

いずれにしても、一定の学生数を確保して経済基盤の安定をはかることがすべてにおいて重要な前提となることから、より一層魅力ある授業内容を提供し、学生の確保に努めたいと考える。

項目別の自己評価表(高等専修学校)

1. 学校の教育目標

服装に関する知識と技術を修得して、実社会に役立つ人間を育成すること。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

目標：高等課程の生徒、専門課程の学生の増加。

計画：ホームページの改訂、進学サイト等を利用したWEB上での学校案内の開始、学校訪問の強化、パンフレットの改訂による授業内容・就職状況等の周知。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1). 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

①課題

1 学科しかないため、社会や企業ニーズへの対応は限定的なものとなる。

②今後の改善方策

企業への間口を広げていくとともに、既存の連携企業との信頼関係をより強化していきたい。

③特記事項

(2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1

・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

①課題

意思決定過程の重複回避、情報システム導入の遅れ

②今後の改善方策

組織内での情報共有と職員間の連携の見直し、事務所内の情報システムの見直し、HP改訂による情報公開の徹底

③特記事項

(3). 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1

・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

①課題

関連分野の企業、関係施設との連携

②今後の改善方策

カリキュラムの中に企業との実践教育活動の場を確立し、授業として展開していく。

③特記事項

地元企業を中心に、実習授業や教員研修における連携を具体的に模索しはじめている。

(4). 生徒指導等

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 基本的な生活習慣の確立のため取組が行われているか	4	3	2	1
・ 生徒の安全管理のための取組等(災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障がいのある生徒等への支援など)が行われているか	4	3	2	1
・ 生徒・保護者からの相談体制が整備されているか	4	3	2	1
・ 進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか	4	3	2	1

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

在籍数が少人数であるため、組織的な体制というものではないが、各担任・教頭等が家庭訪問、個人面談等を通して話し合っている。

(5). 特別活動等

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ クラブ活動等特別活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・ 保護者会等と連携した活動を推進しているか	4	3	2	1

①課題

②今後の改善方策

③特記事項

クラブ活動や後援会的な保護者会という組織はないが、保護者との連絡は個別かつ緊密に行っている。

(6) . 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・進学率や就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

①課題

卒業生の活躍状況はほぼ把握できているが、学校の教育活動の改善にあまり活かされていない。

②今後の改善方策

体系的に卒業生の職業内容と学科との関連性を把握し、カリキュラム等に反映したい。

③特記事項

(7) . 生徒支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・生徒に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・生徒の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1

・ 専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1
--------------------------------------	---	---	---	---

①課題

高等課程は、専門学校の専門課程に進学することが多いため、職業教育の取組みが遅れていたという経緯がある。

②今後の改善方策

今後、専門課程と連携し、専門課程と同様のキャリア教育・職業教育に積極的に取り組む。

③特記事項

生徒の健康管理については、健康診断の結果を各自に伝え、健康上の問題がある場合情報は共有するが、専門的医療機関で診察を受けるようアドバイスする。学校独自で特に支援するという事はないが、生活環境を把握するようには努めている。

(8) . 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

①課題

学内外の実習施設、インターンシップ等についての教育体制の整備

②今後の改善方策

高等課程においても外部のサービスなどを利用しながら、順次、インターンシップを拡充させていきたい。

③特記事項

(9) . 生徒の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・ 生徒募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
・ 生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1

・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1
-------------------	---	---	---	---

①課題

生徒が減少していく中で、教育成果をあげる組織づくりと学納金とのバランスをどうとるべきか

②今後の改善方策

③特記事項

多様な家庭環境の生徒が通えるよう、学費の設定は良心的なものとしている。

(10) . 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

①課題

財政基盤は生徒数に左右されるため、より一層の生徒募集の強化が必要

②今後の改善方策

HP上や各学校の進路担当教員を通じての、学校案内のより一層の拡充

③特記事項

(11). 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

①課題

社会状況の変化にともない、学則や専修学校設置基準等の遵守が難しくなりつつあるため、学則の見直しが課題。

②今後の改善方策

学校の入学定員数を現実に沿ったものに変更することを検討

③特記事項

(12). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 1
・生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 1

①課題

経済的に必ずしも恵まれているとは限らず、自分自身の生活に手一杯の生徒も多い。

②今後の改善方策

③特記事項

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校訪問の強化と進学情報サイトの利用に関しては、少しずつ反響も出始めていることから次年度以降も継続して行う方針である。HPについては外的要因により十分な告知機能を果たせていない現状があるため、内容の全面的な見直しを図る予定である。

学校評価の結果としては、細やかな学生支援およびファッションにとどまらない総合人格教育については、各方面から一定の評価を得ていると自負している。一方で、情報技術の導入と、体系的・実践的なキャリア教育については、可能なところから随時プランをたて実行に移しているが、今後さらなる改善の余地がある。

いずれにしても、一定の生徒数を確保して経済基盤の安定をはかることがすべてにおいて重要な前提となることから、より一層魅力ある授業内容を提供し、生徒の確保に努めたいと考える。